



2026年2月13日

各 位

会社名 株式会社エス・サイエンス  
(コード番号: 5721、東証スタンダード)  
代表者名 代表取締役社長 久永 賢剛  
問合せ先 経営企画室 IR 部  
(<https://s-science.jp/contact/>)

## 系統用蓄電所に係る土地及び設備契約の締結ならびに固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、再生可能エネルギーの普及加速および電力系統の安定化に寄与することを目的として、電力系統に直接接続する大規模蓄電池（系統用蓄電池）の設置・運用に向け、系統用蓄電所に係る土地及び設備等に関する契約（以下「本契約」といいます。）を締結し、併せて固定資産の取得を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### I. 契約締結および固定資産取得の背景および目的

現在、日本政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、再生可能エネルギーの導入が急速に進んでおります。一方で、太陽光発電等の出力変動に伴う電力需給の不均衡や、系統の混雑が課題となっております。

当社は、電力系統に直接接続する大規模蓄電池（系統用蓄電池）を設置・運用することで、電力の需給調整に貢献し、持続可能な社会の実現と当社の新たな収益基盤の構築を目指します。

#### II. 本契約の概要（取得資産の概要含む）

本契約の対象となる蓄電所の概要は、以下のとおりです。

##### 1. 第1号物件

(1)名称	長州周南蓄電所（仮称）
(2)所在地	山口県周南市大字長穂字丁田
(3)定格出力	2 MW
(4)定格容量	8 MWh
(5)蓄電池の種類	リチウムイオン電池
(6)設置工事着工	2026年4月（予定）

(7)調達および仕入先	三崎未来電子株式会社、三崎未来ホールディングス株式会社
(8)施工会社	株式会社エネフォワード（予定）
(9)アグリゲーター	東京ガス株式会社（予定）
(10)取得価額	約5億80百万円（消費税別）
(11)資金の調達方法	自己資金及び借入
(12)工事完了引渡日	2026年11月（予定）

## 2. 第2号物件

(1)名称	薩摩伊佐蓄電所（仮称）
(2)所在地	鹿児島県伊佐市大口牛尾
(3)定格出力	2 MW
(4)定格容量	8 MWh
(5)蓄電池の種類	リチウムイオン電池
(6)設置工事着工	2026年6月（予定）
(7)調達および仕入先	三崎未来電子株式会社、三崎未来ホールディングス株式会社
(8)施工会社	株式会社エネフォワード（予定）
(9)アグリゲーター	RE100 電力株式会社（予定）
(10)取得価額	約5億80百万円（消費税別）
(11)資金の調達方法	自己資金及び借入
(12)工事完了引渡日	2027年2月（予定）

※上記2物件の土地、付属設備に関する調達および仕入先であります当該相手先の概要につきましては、相手先との守秘義務により公表を控えさせていただきます。また、当社と相手先との間には、資本関係・取引関係・関連当事者への該当状況につきましては、該当事項はありませんが、人的関係において三崎未来電子株式会社および三崎未来ホールディングス株式会社の代表者三崎優太氏は、当社のグリッド事業エグゼクティブアドバイザーであります。

## III. 今後の運用（ビジネスモデル）の概要

当社は、当該蓄電所について、主に以下の市場での運用を予定しており、収益機会の創出を見込んでおります。

- (1)需給調整市場：出力変化量デルタ（ $\Delta$ ）kWを含む調整力の提供
- (2)卸電力取引市場（JEPX）：価格差を利用したタイムシフト（裁定取引）
- (3)容量市場：将来の供給力（kW価値）の提供による固定収益

#### IV. 日程

- (1)取締役会決議日 2026 年 2 月 13 日  
(2)土地及び設備契約日 2026 年 2 月 16 日

#### V. 投資額および資金調達方法

本件を機に、当該事業への 2026 年度の総投資額は約 36 億円を見込んでおります。  
資金調達については、自己資金および金融機関等からの借入を充当する予定です。

#### VI. 今後の見通し

本件が 2026 年 3 月期の当社業績に与える影響は軽微ですが、中長期的な企業価値向上に資するものと考えております。ただし、2026 年 2 月 27 日開催予定の臨時株主総会での定款変更の効力発生を停止条件とします。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上